



巻頭言 精神科 ながい 長井 ともこ 友子

この病院だよりが出る頃には梅雨も明ける頃かと思えます。今回は精神科が巻頭挨拶を担当するというお話をいただきましたので、まずは豊洲駅周辺の近況などからご報告させていただきます。

昨年10月にやっと豊洲に市場が移転しました。私は朝の有楽町線の通勤ラッシュがひどくならないかと心配していたのですが、そこは変わらなかったのではと胸をなでおろしつつ、かといって通勤ラッシュが軽減されることもなく、いつの間にやら通勤ラッシュに適応している自分を再確認しました。また、周辺のビルやらマンションやらの建設ラッシュもまだ続いております。風景が変わり続けるという不思議な場所だなあと感じております。江東区は人口も増え続けており、変化と成長を続ける街だと感じているのですが、病院にご入院されている方々はご高齢の方が多く印象です。当たり前ですが、古くからの都営団地があったりして昔から住み続けている方々もおられ、そういう患者様からは昔の東京の話を聞いたりすることもあります。



さて、開院当時は300床だった江東豊洲病院の病床もじわじわと増え続け、2019年5月24日からはとうとう400床にまで増床しました。当院精神科には、入院病床及び外来はなく、他科に入院中の患者様の依頼をお受けしておりますが、依頼の6割以上がせん妄治療やせん妄予防の依頼です。せん妄とは、全身状態の悪化や急激な環境変化などによって、強い寝ぼけのような症状が出現することを言います。病床が増え、精神科依頼も一気に増えました。ご高齢の方ですと、元々認知症をもっていた方の依頼を受けることも多く、90歳以上の方も稀ではなくなってきました。私は当院に赴任させていただいて4年経つところなのですが、新しい街並みと新しい病院で、高齢化社会を実感しているところです。いつも、9階の職員食堂で新しいビルや新しい小学校の屋上を見ながら昼食をとり、働き方改革の一環としていかに時間内に業務を終わらせるか、帰宅後のスケジュール、そして、自分の年の取り方のことなども考えるようになりました。以上、近況報告でした。



第63号のピックアップ

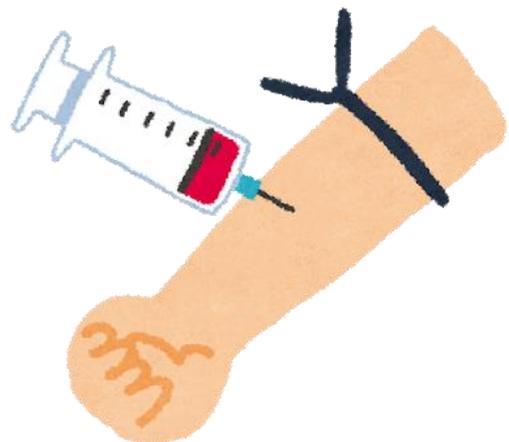
- ・巻頭言（精神科）
- ・臨床病理検査室紹介
- ・七夕イベント開催報告
- ・地域連携講演会開催報告
- ・「ご意見・ご要望」についての回答
- ・編集後記

江東豊洲病院・臨床病理検査室を紹介します。はじめに臨床検査とは患者さんの身体の状態や病気の原因、重症度や緊急性、治療効果などを評価するために調べる検査のことです。私たち臨床検査技師は、医師の指示のもとに各種の臨床検査を行う専門の技術職です。患者さんと接する機会は、外来採血室や生体検査室（心電図・超音波・呼吸検査・筋電図・脳波・聴力検査など）と限られていますが、見えない業務として採取後の血液や尿などの分析検査、顕微鏡を使つての細胞分類、細菌培養検査、輸血を行うために必要な血液型や交差適合試験（輸血する血液が患者さんの血液と適合するか否かの検査）、血液製剤や自己血（手術前にご自身の血液を出血に備え貯めた血液）の管理、病理検査では病変部から採取された組織や体液検体の標本作成などを行っています。チーム医療の活動では、感染対策部門（ICT）の一員として病気の原因菌を特定し迅速に医師に報告、栄養サポート部門（NST）では検査値から患者さんの栄養状態を評価し提案しています。このように様々な分野の検査を担っている検査技師ですが、学術団体から認定を受けるなど専門性の高い知識と技術により検査を行うことで診療に貢献出来るよう心がけています。



臨床病理検査室検査室スタッフ
（前列左から2人目 及川係長）

外来採血室では、患者さんのプライバシー保護の目的で番号制と採血待ち時間を表示しリアルタイムで状況をお知らせしています。採血前は番号でお呼びし「採血取り間違い防止」のためご自身のお名前とお誕生日を言っていただき、続いて消毒薬や手袋のアレルギーが無いか、血液さらさらのお薬（血液を固まりにくくするお薬）を内服されているかなど患者さんのご協力のもと一緒に安全確認を行っています。採血後は青あざにならないよう針を刺した場所を少なくとも5分間しっかりと押さえる事、さらさらのお薬を内服されている患者さんには更にしっかりと圧迫して頂くようお願いしています。採血を終えて診察までの待ち時間内に検査結果が出る「診察前検査」では、検査時間の短縮と結果を待つ患者さんの心身の負担軽減に繋げるようにしています。当院では週末・休日も生理検査などの予約検査も実施していますので、通学や勤務されている患者さんの負担も軽減できるよう配慮し診療の支援に努めていますので、宜しくお願いいたします。



七夕イベントを開催しました



〈こどもセンター七夕祭り〉

七夕祭りをみんなで楽しむため、沢山の子どもたちがプレイルームに集まってくれました。

はじめに、「おしゃれ魚のシャーナ」のお話をしました。魔法にかかったシャーナの体がいろいろな色に変わっていくと、驚いた様子の子どもたち。おしゃれになったお魚のお話でした。

次に、青い空の背景に、星やシールをみんなで貼って、天の川を作りました。色鮮やかな綺麗な作品が出来ました。

最後に、金魚すくいごっこをしました。ポイですくってとった金魚はお土産にしました。そして、今日のおやつは特別に、七夕のお星さまのタルトを用意してもらいました。みんな美味しそうに食べていました。

プレイルームに飾ってある、笹飾りと短冊がゆらゆら。みんなの願いごとが叶いますように…



〈1階ロビー笹飾り〉

1階ロビーに設置していた笹飾りには、笹を埋め尽くすほどの短冊が飾りつけられ、大盛況で幕を閉じました。



昭和大学江東豊洲病院地域連携講演会を開催しました



こどもセンター
阿部 祥英准教授

6月22日（土）に近隣の医療機関や福祉施設のスタッフの方々をお招きして、『第5回 昭和大学江東豊洲病院 地域連携講演会』を開催しました。

第1部では、こどもセンター責任者の阿部祥英准教授より「ステロイド忌避による重症アトピー性皮膚炎の乳児例」、消化器センター内科診療科長 伊藤敬義准教授より「肝障害の鑑別診断」と題した講演をそれぞれ行いました。

第2部では懇親会が開催され、会の途中では各診療科の医師から地域の先生方へご挨拶させていただく機会も頂戴しました。日頃お世話になっている皆様に当院スタッフの顔を知っていただく良い機会となりました。当日は雨天にも関わらずたくさんの方にお越し頂き誠にありがとうございました。



消化器センター
伊藤 敬義准教授



第1部 講演会

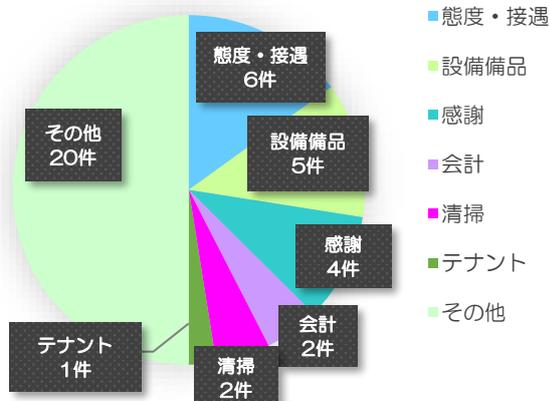


第2部 懇親会

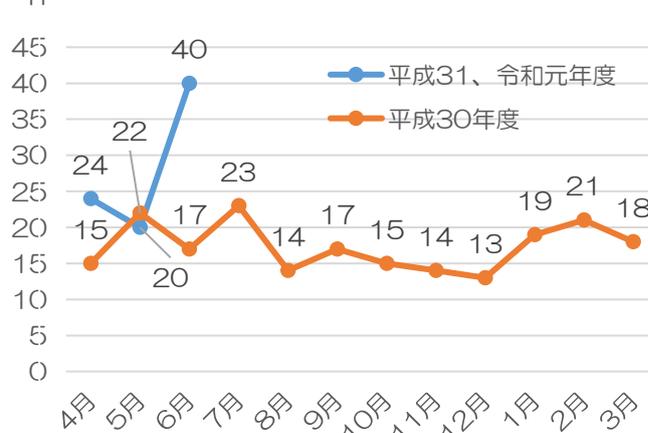
◆「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>病室での携帯電話の使用は禁止となっているが守られておらず、長時間電話をしている患者もいて苦痛に感じます。職員の方々も黙認しています。</p>	<p>この度はご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。病室内での通話とはご遠慮いただいておりますが、使用していた患者さんへの事前説明が十分されていなかったことが今回の原因として考えられます。今後このようなことが起こらないよう入院時のオリエンテーションで説明し、ルールを守って入院生活を送っていただけるよう努めてまいります。引き続き患者さんのご希望に添えるような病棟づくりに励んでまいります。この度は貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：看護部</p>
感謝	回答
<p>POEMの手術で来院しました。入院中の7泊8日の間、担当の先生を始め、看護師、職員の皆様には昼夜問わず熱心に看護していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。おかげさまで症状が改善し、無事退院を迎えられました。皆様のますますのご活躍とご健康を祈念しています。ありがとうございました。</p>	<p>この度はご入院中には至らない点が多々あったにも関わらず、このような褒めの言葉をいただき大変感謝しております。スタッフにいただいたお言葉を伝えたとこ、一同喜んでおり、大変励みになりました。医師、看護師だけでなく医療スタッフ一同で良い対応ができるよう周知してまいります。引き続き患者さんのご希望に添えるような病棟づくりに励んでまいります。この度は貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：看護部</p>

令和元年6月分
ご意見・要望の内訳
総件数40件



ご意見・ご要望の推移



編集後記 看護部 小笠原 京子

令和初めての夏は、梅雨が長引き、6月には鹿児島市を中心に大規模な豪雨災害が発生しています。また昨年観測されたエルニーニョ現象は6月まで続きました。一般的にエルニーニョ現象が観測されると、冷夏になるともいわれています。令和元年の夏が暑くなるのか気になるところですが、猛暑でも・冷夏でも体調管理をしっかりして楽しい夏をお過ごしください。記念となる令和元年の夏が皆様にとって素敵なシーズンになりますように!!



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ



Showa University Koto Toyosu Hospital